



FCバレイン下関 代表兼監督 **福原康太** さん

かつてレノファ山口FCで背番号10を背負い、チーム歴代最多の73得点を挙げる。現在は下関に移住し、下関からJリーグを目指すサッカーチーム、FCバレイン下関の代表兼監督 福原康太さんをご紹介します。



▲今シーズンを振り返る福原さん。「乃木浜のスタンドがサポーターで埋まり鳥肌が立ちました」

**みんなの声援が
大きな力になる
下関にJリーグを**

下関のチームへ移籍

2014年にレノファ山口FCからFCバレイン下関に期限付き移籍し、2015年に完全移籍をした福原さん。移籍したきっかけは、現在はチームの理事長である原田さんから、Jリーグを目指すために力を貸してほしいと言われたことでした。

「当時は、レノファ山口FCがJFLに、FCバレイン下関が県1部リーグに所属していて、カテゴリーが二つ下のリーグへの移籍に、1カ月ぐらいすごく悩みました。最後

は、下関出身の妻が背中を押してくれたことが移籍を決断するのに大きかったです」

2020年バレイン飛躍

2016年に現役を引退した福原さん。2020年シーズンは、代表兼監督としてチームの躍進に貢献しました。今シーズンのFCバレイン下関の選手は31人、その内、下関出身は6人。チームには、プロの選手はおらず、選手は仕事をした後、1日2時間の練習を週5日ほど行い、それとは別に試合にも参加するという生活を送っていました。

8月、県サッカー選手権の決勝で常盤クラブに3-0で勝利し、悲願の初優勝。山口県代表として天皇杯全日本選手権への初出場を決めます。下関のチームが出場するのは、東亜大学が出場した1996年以来的のことでした。

9月、乃木浜総合運動公園

※日本サッカーのリーグ構成は、上から順に、J1、J2、J3、JFL、地域リーグ、都道府県リーグとなっており、FCバレイン下関は現在、地域リーグに属しています





まちかどボイス

今月のテーマ
あなたの夢は何ですか？



▲県サッカー選手権の優勝を喜び選手、スタッフ、サポーター。



◀乃木浜総合運動公園。満員のサポーターの前でのCSLチャンピオンシップ2020決勝(9月27日)。



▶監督として選手に戦術の指示をする福原さん。チームコンセプトは「アグレッシブ」

で行われた中国サッカーリーグの代替大会CSLチャンピオンシップ2020決勝では、SRC広島に0-2で惜しくも敗れます。

今シーズンについて福原さんは「コロナ禍で思うように練習ができない中、選手が本当によくやってくれました。新入団の選手が勢いをつけてくれたのと、それを支えたベテランの存在が大きかったです。CSLチャンピオンシップで敗れ、JFL昇格はできませんでしたが、乃木浜のスタンドが満員で、チームカラーの青に染まったのを見たときはぐっと込み上げてくるものがありました。サポーターの皆様

さんには感謝の気持ちでいっぱいです」と話します。

サポーターに伝えるため

来シーズンに向けて、選手への獲得と選手の補強に力を入れている福原さん。

「Jリーグに上がるため、チームが強くなるには、どうしたらいいかを、日々、みんなで話し合っています。私たちは、下関にJリーグのサッカーチームを作りたいことを本気で目指していますし、必死です。FCバレイン下関をまちの誇りとなるチームにしたいです。下関にJリーグを。市民の皆さんとその日を迎えられることを私は夢見ています」

編集後記

- 取材にご協力いただいた方々に元気をいただき私も頑張ろうと思えることができました。来年もよろしくお祈りします。(と)
- 芸術文化祭で素敵な作品をたくさん見ることができました。市民の皆さんの素晴らしい力をもっとお伝えできるように頑張ります。(ひ)
- バレインの試合を観戦。ハラハラドキドキの試合展開。観客の声援や盛り上がりに興奮しました。来シーズンが楽しみです。(き)